



社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより(NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第6号
平成25年10月15日
主任 社会教育主事
安部亮太郎・山崎 蘭

☆ 中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します ☆

特集 平成25年度PTA・教育行政研修会

PTAと行政(県教育委員会や市町村教育委員会)が一緒になって「子どものためにできること」を考えるPTA・教育行政研修会がありました。7月から8月にかけて、中部管内の3地区(吾川郡・高岡地区・土長南国)で行われたこの会について紹介します。

高知県の現状や取組について(高知県教育委員会より)

県教委の取組について

県生涯学習課より、高知県の子どもの現状と今後の取組について次のような説明がありました。

学力について

着実な改善傾向にある。学校経営力の向上、児童生徒の学力定着状況の把握、授業の質の向上を通して、小学校の学力は全国上位に、中学校の学力は全国平均まで引き上げる。

心について

自分に対する意識や夢や目標について、肯定的な回答が増えているが、暴力行為の発生件数、不登校出現率、中途退学の割合は依然として厳しい状況である。心を耕す教育の総合的な推進・生徒指導上の諸問題に向けた取組を通して、児童生徒の自尊感情を育むとともに、社会性、規範意識を高める。

体力について

着実な上昇傾向にある。中学校では、全国的にも例をみないほどの伸び率。体力・運動能力の向上に向けた取組(A・K・Bプロジェクト等)や「よさこい健康プラン21」との連携による取組を通し、小中学校の体力、運動能力を全国平均まで引き上げる。

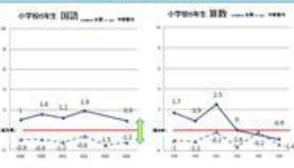
キャリア教育について

県小中学校課より、キャリア教育について説明がありました。キャリア教育とは、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育のことです。高知県では、「学力向上」「基本的生活習慣の確立」「社会性の育成」を三本柱に、高知の子どもたちの「夢」や「志」をかなえる基となる力をキャリア教育によって育てていきます。

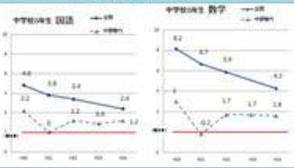
中部管内、子どもの現状

中部教育事務所より、管内の学力・体力・不登校・いじめ・暴力行為などの状況について説明がありました。特に、昨年度の中部管内の全国学力学習状況調査の結果は、全国平均に比べて厳しい状況にあり、改善に向けて、学校への指導助言に力を入れていくことが話されました。

中部管内の学力状況(小学校)
全国学力・学習状況調査



中部管内の状況(中学校)
全国学力学習状況調査



☆PTAができることは何だろう？☆

今年は「心身ともに健やかで自ら学ぶ意欲のある子どもを育もう」をテーマに次のA・B・Cの三つのテーマに分かれて分科会を行い、家庭やPTAができることについて話し合いを行いました。一部をご紹介します。

A・学力向上のためにできること

家庭環境づくり・生活リズム

- ・早ね早おき朝ごはん
- ・生活リズムチェック
- ・ノーテレビデー(ゲームも)
- ・学習時間等のきまり

ルールづくり

- ・大人がモデルになる
- ・携帯電話やゲームを
使うときのルールづくり

会話・コミュニケーション

- ・お手伝い 交換日記
- ・勉強等に関心をもつ
- ・声かけ 会話 本日の一句
- ・家族団らん・認め励ます
- ・親子ふれあい行事を企画
- ・単語でなく文章で話す
- ・社会の出来事を会話に
- ・子どもの疑問をとともに考える。

家庭学習

- ・子どもに考えさせる
- ・一緒に勉強
- ・家庭学習の習慣化・啓発
- ・新聞・ニュース・活字
- ・宿題・忘れ物等、声かけ

読書

- ・小さい頃から読み聞かせ
- ・親子読書タイム・デイ運動
- ・本を置く 本の紹介
- ・図書館の利用・一緒に選ぶ
- ・本の寄贈・読書表彰

家庭・学校・地域

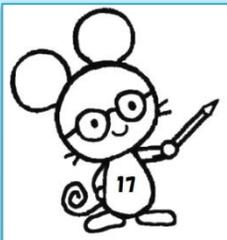
- ・親が学習のチェック
- ・学級通信への返信
(学習状況を報告)
- ・自主学習ノートコンテスト
- ・親子表彰(親もほめる)
- ・参観日のイベント化
- ・行事などへの参加・応援
(地域の方へも呼びかける)
- ・学校と家庭の連絡を増やす
- ・親同士のコミュニケーション
- ・人とのつながりを見せる
- ・近所づきあいをさせる

体験

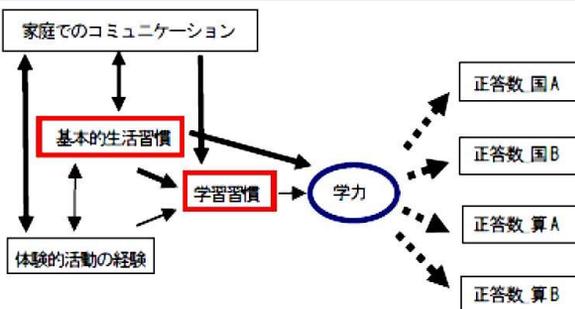
- ・小さい時から一緒に体験
- ・一緒に遊ぶ
- ・テレビゲーム以外の体験
- ・失敗しそうな場面を見守る
- ・子どもの関心を引き出す
- ・料理・掃除・行事
- ・お弁当の日・おつかい体験

「ほめる」のほす

- ・できたらほめる
- ・自分の子以外もほめる
- ・地域からもほめてもらう



学力を上げるためには、コミュニケーションや体験的活動の経験が大切であり、これによって学習環境が整うと文部科学省も発信しています。(全国学力学習状況調査の結果分析より)



http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/12/_icsFiles/afieldfile/2009/01/19/1217991_3.pdf



B・自分も人も大切にできる 心豊かな子どもを育てるには

コミュニケーション・会話

- ・スキンシップ・声かけ
- ・同じ空間で過ごす
- ・家族の和を大切にすること
- ・家族そろって食事
- ・毎日子どもと会話する
- ・たわいもない話をする
- ・目を見て話す・親が笑顔
- ・親が人の悪口を言わない
- ・親が心を大切にしようとする
- ・子どもの興味を理解する
- ・ありがたさを伝える
- ・よいメッセージを言葉に
- ・子が大切な存在だと伝える
- ・子どもの話を十分聞く
- ・子どもの変化を見逃さない
- ・夢を語る、親の体験を語る
- ・自分の親を大切にすること
- ・課題を投げかけ話し合う
- ・子どもが大切にされている
- ・と感じる雰囲気づくり
- ・愛されている実感を与える
- ・小さい頃のビデオを見せる
- ・（親が世話をやいている）
- ・なんでも話せる雰囲気
- ・あいさつ（外でも家でも）
- ・子どもの友達を大切にすること

ほめてのばす・承認

- ・ほめる 認める
- ・がんばりを評価
- ・子を他と比べない
- ・否定的なこととは言わない

夫婦関係

- ・よき家庭文化にふれる
- ・親自身が楽しむ
- ・仲良く助け合う

生きる力を育む体験

- ・家族で助け合い、認めあう
- ・感謝を言葉にする
- ・家族で役割をつくる
- ・（自己有用感）
- ・家族全員でルールを決める
- ・家族で自然体験
- ・家族で目標を語り合う
- ・親が手本を示す
- ・規則正しい生活
- ・感受性を育てる
- ・駄目な時は叱りどうすればよいかいつしよに考える
- ・地域とのかかわり
- ・地域のイベントに参加
- ・失敗をさせる
- ・お墓参りに一緒に行く
- ・様々な体験をさせる
- ・人づきあいを見せ教える
- ・高齢者や幼い子を大切に
- ・動植物を育て、命の大切さを学ぶ

C・PTA活動を活性化するには

アンケート

- ・PTA全員にアンケート
- ・要望を把握し計画・運営

イベント

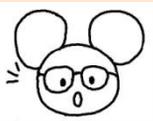
- ・参加して楽しい
- ・未体験の活動
- ・子どもの交流活動
- ・子ども広場
- ・（小中学生交流）
- ・部活体験教室
- ・ギネスに挑戦
- ・地域をまきこんだ活動
- ・昔遊び体験
- ・子ども英会話
- ・子どもが考えたイベント
- ・お祭り・運動会
- ・みんなでオーケストラ
- ・スポーツ交流
- ・他市町村との交流
- ・キャンプ・釣り
- ・バーベキュー大会
- ・親子で楽しめる活動
- ・PTA3分スピーチ大会

様々な集まり

- ・ワークショップ形式の会
- ・研修会・親送迎会
- ・交流会・慰労会
- ・愛校作業
- ・地域美化活動
- ・資源回収作業
- ・母親座談会
- ・父親が参加する会、活動
- ・父親料理教室
- ・保護者の勉強の場
- ・活性化の啓発になる会
- ・教員との親睦会
- ・先生が元気になる会
- ・学年行事PTA
- ・地域・民生委員との連携
- ・PTCA・保幼小中連携
- ・地域コミュニティへの参加
- ・地域ボランティア交流会
- ・全員参加活動（役割分担）
- ・気軽に話せる会
- ・本音を言える懇親会

啓発

- ・活動を日記風に配布
- ・マンガ風広報



たくさんの感想ありがとうございました。

○自分自身が考えさせられることが多々ありました。全然知らない方とコミュニケーションができて、「こういう小さいことからやらないといけないんだと思いました。よい経験になりました。(小学校)

○多くの意見が出て、充実した分科会だった。どの意見も参考になりとてもよかった。(中学校)

○3年連続で参加させて頂きました。子どものために、読書やいっしょに勉強することが大切だと思います。でも思うようにいかないことが多いです。次はいろいろアドバイスみたいなのが聞けるとうれしいです。(小学校)

○PTAと教育行政のいっしょの研修会は、参加するたびに「教育」の原点「子どもたちのために考える時間の大切さ」に気づかされる研修会です。(地教委)

○来年はPTAで困っていることは何か、教育行政との関係で応援・支援できることを探っていくのはどうでしょうか(小学校)

○それぞれのテーマについて、子どもたちのために何ができるかを考えるよい機会になりました。ふだん思っている、それをみんなに伝えたり、他の人の考えを聞いたりする機会はなかなかとれないと思います。各単Pで今日の分科会でやったような時間があればいいなと思いました。(小学校)

○どこも同じような悩みがあり、だからこそ、この様な会が大事であり、いろいろな案、意見も聞かせていただいて、初めてこのような会の参加でしたが、勉強になりました。(保育所・幼稚園)

○初めての討論参加でしたが、PTAもがんばっていかなくてはと、思いました。子どもたちのために、親として精一杯、運動を続けていきます。(中学校)

○いじめ・不登校が全国でワースト3というのは大問題。先生だけの問題ではないと思う。取り上げはどうか？(小学校)

○他の単Pの人と話をして、いろいろな事がわかり、自分も頑張りたいと思った。今日、ここに参加した人が素晴らしく見えた。参加してよかった。(小中学校)

○成果は経験を通して生まれるものだと思います。もっともっと経験を積み、親子の絆を深めたいと思いました。(中学校)



担当より

平成25年度PTA・教育行政研修会への参加・ご協力ありがとうございました。

会の中では、多くのPTAの方が、「知らなかった他地域のPTAの方と話ができて、本当に楽しかったし、勉強になった。また来たい」と話されていました。各地区での会の様子などについて、単Pの会でも話していただけたらと思います。アンケートの結果も各地区P事務局にお送りしています。紹介しましたこれらの内容を、各地域のPTA活動に、ぜひご活用ください。

地域の活動情報をお知らせください

中部教育事務所では、生涯を通し学ぶ喜びに満ちた教育的風土づくりを進めるために、各市町村の社会教育委員会やPTA、その他の社会教育諸団体と連携を図りながら支援助言を行っていきます。また、情報収集に努め社会教育に役立つ情報を発信していきます。地域の活動等情報がありましたらお知らせください。

連絡先: 高知県教育委員会事務局中部教育事務所
TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167
E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp
担当: 安部・山崎